

第6章 方針実現に向けた取組

都市づくり方針に沿って今後展開していく取組のイメージを示します。

1. 滝尾駅周辺全域（共通）

【取組の概要】

- ・ 住環境の向上に向けた基盤整備に伴う民間の取組が必要です。
- ・ 防災・減災に向けた継続的な取組が必要です。

【取組の主体】

民間、大分市、大分県

【取組のポイント】

- ・ 道路整備や土地利用、防災面への配慮など、周辺の状況も含めた総合的な観点からの検討が必要です。
- ・ 官、民での連携が必要です。
- ・ 交通結節機能の向上のため、関係機関との連携が必要です。
- ・ 土地利用を促進するため、用途地域や地区計画などの都市計画手法の活用や、民間による開発等のはたらきかけが必要です。
- ・ 整備においては、防災面への配慮が必要です。
- ・ 土砂災害の恐れのある区域における急傾斜地崩壊対策事業等、事前防災事業の活用を検討します。
- ・ 災害の発生に備えた情報周知の徹底や防災訓練等の定期的な実施など、ソフト面における防災・減災に向けた取組が必要です。
- ・ 整備においては、デジタル化を含む次世代技術等の導入の可能性を考慮します。
- ・ 本地区の歴史や自然などの地域資源を活用したまちづくりの推進に向けて、地区内の魅力の紹介等を行う案内看板等の設置を検討します。

2. 都市計画道路 滝尾駅前線

【取組の概要】

- ・地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を推進します。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・滝尾駅前線は、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる幹線道路として、円滑で安全な移動の実現を図ります。
- ・道路沿道の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・道路整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・行政や市民など関係者の連携が必要です。

3. 滝尾駅前広場

【取組の概要】

- ・JR 滝尾駅の交通結節機能を向上するとともに、本地区の都市づくりの拠点となるよう、駅前広場の整備を推進します。

【取組の主体】

大分市、JR九州、民間

【取組のポイント】

- ・自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）を検討します。
- ・誰もが使いやすい交通結節点になるように、段差の解消等のバリアフリー化を推進します。
- ・本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。
- ・周辺からのアクセスを考慮した交通結節拠点としての機能の検討を行うとともに、駅の機能拡充の検討をはたらきかけます。
- ・広場周辺の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・広場整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・次世代型モビリティの導入可能性も踏まえた規模や構造を検討します。
- ・行政や市民、交通事業者等など関係者の連携による検討体制の構築を目指します。

4. 南北幹線道路

【取組の概要】

- ・周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備を検討します。

【取組の主体】

大分市

【取組のポイント】

- ・地区内の南北軸となる幹線道路として、地区内・地区外を円滑に移動できる形態を検討します。
- ・幹線道路として沿道の土地利用も含めた検討が必要です。
- ・歩行者が安心安全に移動できる歩道など、バリアフリーに配慮します。

5. 狭あい道路等

【取組の概要】

- ・狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法を検討します。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・住環境の向上のため、狭あい道路等の解消が必要です。
- ・狭あい道路等の解消に向けて、計画的な取組と効果的な手法の検討が必要です。
- ・地区の安全性の向上のため、市民・事業者・行政などの関係者間の調整・協力が必要です。

滝尾駅周辺全域（共通）

- ・ 住環境の向上に向けた基盤整備に伴う民間の取組及び防災・減災に向けた継続的な取組

狭あい道路等

- ・ 狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法の検討

都市計画道路 滝尾駅前線

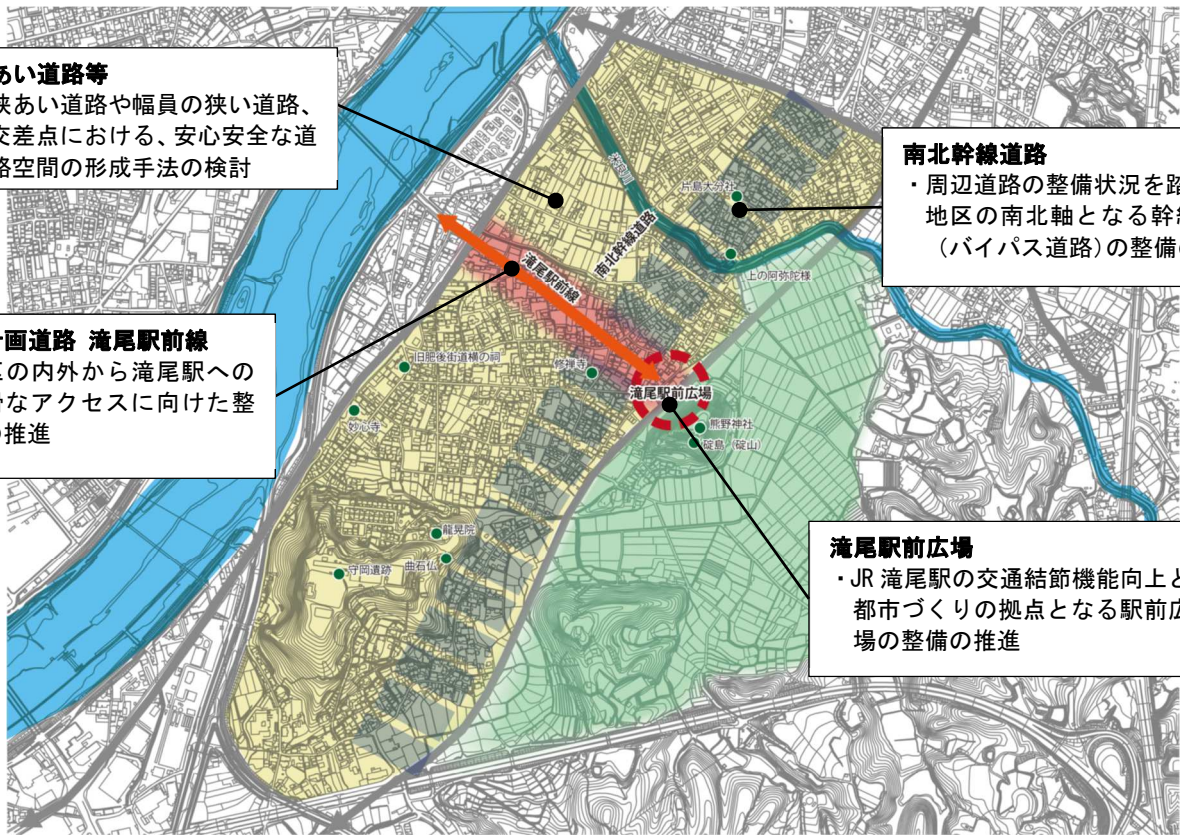
- ・ 地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスに向けた整備の推進

南北幹線道路

- ・ 周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備の検討

滝尾駅前広場

- ・ JR 滝尾駅の交通結節機能向上と都市づくりの拠点となる駅前広場の整備の推進



都市づくり方針と取組のイメージ図

滝尾駅周辺全域（共通）

【取組の概要】

- ・住環境の向上に向けた基盤整備に伴う取組が必要です。
- ・防災・減災に向けた継続的な取組が必要です。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・道路整備や土地利用、防災面への配慮など、周辺の状態も含めた総合的な観点からの検討が必要です。
- ・官、民での連携が必要です。
- ・交通結節機能の向上のため、関係機関との連携が必要です。
- ・土地利用を促進するため、用途地域や地区計画などの都市計画手法の活用や、民間による開発等のはたらきかけが必要です。
- ・整備においては、防災面への配慮が必要です。
- ・土砂災害の恐れのある区域における急傾斜地崩壊対策事業等、事前防災事業の活用を検討します。
- ・災害の発生に備えた情報周知の徹底や防災訓練等の定期的な実施など、ソフト面における防災・減災に向けた取組が必要です。
- ・整備においては、デジタル化を含む次世代技術等の導入の可能性を考慮します。
- ・本地区の歴史や自然などの地域資源を活用したまちづくりの推進に向けて、地区内の魅力の紹介等を行う案内看板等の設置を検討します。

南北幹線道路

【取組の概要】

- ・周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備を検討します。

【取組の主体】

大分市

【取組のポイント】

- ・地区内の南北軸となる幹線道路として、地区内・地区外を円滑に移動できる形態を検討します。
- ・幹線道路として沿道の土地利用も含めた検討が必要です。
- ・歩行者が安心安全に移動できる歩道など、バリアフリーに配慮します。

都市計画道路 滝尾駅前線

【取組の概要】

- ・地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を推進します。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・滝尾駅前線は、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる幹線道路として、円滑で安全な移動の実現を図ります。
- ・道路沿道の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・道路整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・行政や市民など関係者の連携が必要です。

滝尾駅前広場

【取組の概要】

- ・JR 滝尾駅の交通結節機能を向上するとともに、本地区の都市づくりの拠点となるよう、駅前広場の整備を推進します。

【取組の主体】

大分市、JR九州、民間

【取組のポイント】

- ・自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）を検討します。
- ・誰もが使いやすい交通結節点になるように、段差の解消等のバリアフリー化を推進します。
- ・本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。
- ・周辺からのアクセスを考慮した交通結節拠点としての機能の検討を行うとともに、駅の機能拡充の検討をはたらきかけます。
- ・広場周辺の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・広場整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・次世代型モビリティの導入可能性も踏まえた規模や構造を検討します。
- ・行政や市民、交通事業者など関係者の連携による検討体制の構築を目指します。

狭あい道路等

【取組の概要】

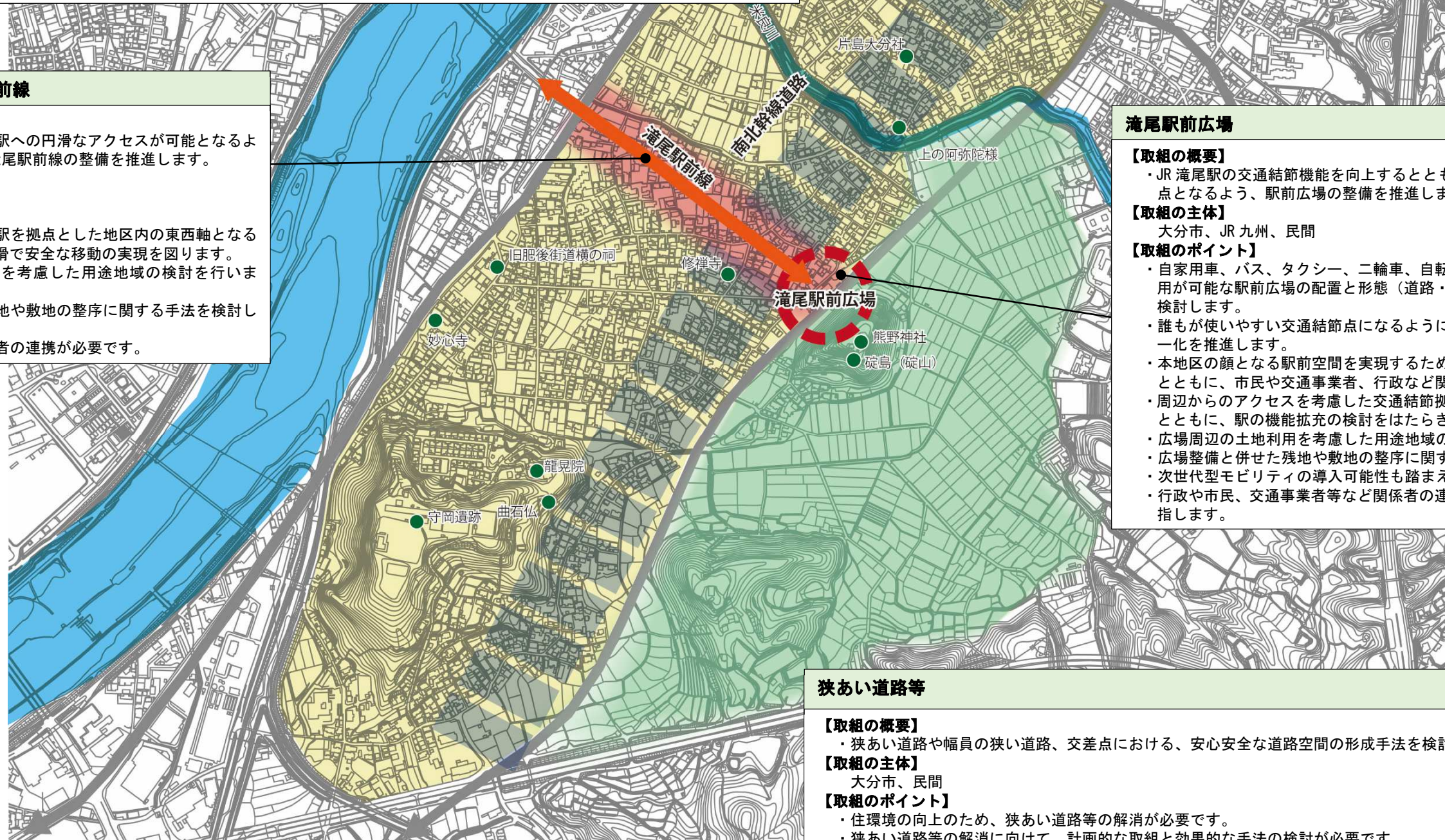
- ・狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法を検討します。

【取組の主体】

大分市、民間

【取組のポイント】

- ・住環境の向上のため、狭あい道路等の解消が必要です。
- ・狭あい道路等の解消に向けて、計画的な取組と効果的な手法の検討が必要です。
- ・地区の安全性の向上のため、市民・事業者・行政などの関係者間の調整・協力が必要です。



6. 各取組の実施時期のイメージ

	取組内容	取組時期			
		短期	中期	長期	
滝尾駅周辺全域(共通)	滝尾駅周辺全域	住環境の向上に向けた基盤整備に伴う取組 防災・減災に向けた取組			
都市計画道路 滝尾駅前線	滝尾駅前線	地区の東西軸となる滝尾駅前線との整備			
滝尾駅前広場	滝尾駅前広場	交通結節点となる駅前広場の整備			
南北幹線道路	バイパス道路	地区の南北軸となる幹線道路(バイパス道路)の検討			
狭あい道路等	滝尾駅周辺全域	幅員の狭い道路や交差点における安心安全な道路空間の形成検討			